

## CSHL meetings: Mechanisms of Aging 2022に参加して



目で見ると  
海外論文発表

佐伯 麻里花\*

My experiences at CSHL meetings: Mechanisms of Aging 2022

Key Words : Aging, Lifespan, Rejuvenation, Autophagy, Cell Biology

### <参加会議名>

Cold Spring Harbor Laboratory Meetings:  
*Mechanisms of Aging*

<開催場所> New York, United States

<渡航期間> 2022年9月25日~2022年10月2日

<発表タイトル>

Ninjurin1 is involved in lysosomal damage response

Cold Spring Harbor Laboratory (CSHL) は生物学・遺伝学の分野における世界有数の教育研究拠点として、生物学・医学研究の発展のため定期的に国際会議を開催しています。本会議“Mechanisms of Aging”には、老化・寿命・若返りの分野を牽引する世界中の研究者が参加しました。

今回私は、細胞内成分の分解機構であるオートファジーが損傷したリソソームを除去する機構(リソファジー)の新規制御因子を同定し、その性状と機能についてポスター発表を行いました。近年、オートファジーやリソソーム損傷が老化・寿命に直接影響することが報告されており、老化研究においてリソファジーが注目され始めています。実のところ私の研究は aging と直接結び付いてはならず知識量も少ないので、学会が始まるまでは不安が大きかったのですが、多くの研究者の方がオートファジー研究に興味を持ってくださりました。英語での会話がま

まならず、考えの全てが伝えられずに悔しく思う場面もありましたが、異分野領域の研究者との交流により新たな切り口から議論を交わすことができました。

最後に、このような貴重な機会に対してご支援賜りました生産技術振興協会に深く御礼申し上げます。



▲ Wine&Cheese Party の様子



▲ ポスター会場の様子



◀ ラボメンバーと



\* Marika SAEKI

1999年3月生まれ  
神戸大学 農学部 資源生命科学科  
(2020年)

現在、大阪大学大学院 生命機能研究科  
時空生物学講座 細胞内膜動態研究室  
博士後期課程1年 修士(生命機能学)  
専門/細胞生物学

TEL : 06-6879-4858

FAX : 06-6879-3589

E-mail : marika.osakau@gmail.com